

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成23年5月26日(2011.5.26)

【公開番号】特開2009-254247(P2009-254247A)

【公開日】平成21年11月5日(2009.11.5)

【年通号数】公開・登録公報2009-044

【出願番号】特願2008-104959(P2008-104959)

【国際特許分類】

C 12 G 3/04 (2006.01)

【F I】

C 12 G 3/04

【手続補正書】

【提出日】平成23年4月11日(2011.4.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

高甘味度甘味料と、飲料全体に対し0.5重量%～3.0重量%の野菜汁と、飲料全体に対するアルコール度数として1v/v%～5v/v%のアルコールとを含有する飲料。

【請求項2】

前記野菜汁が、トマト、ニンジン及びセロリからなる群から選ばれる1種または2種以上の野菜から得られるものである、請求項1に記載の飲料。

【請求項3】

前記野菜汁が、トマト及びセロリからなる群から選ばれる1種または2種以上の野菜から得られるものである、請求項2に記載の飲料。

【請求項4】

前記高甘味度甘味料が、アセスルファムK、スクラロース、アスパルテーム、ネオテーム、グリチルリチン、ステビアからなる群から選ばれる1種または2種以上の高甘味度甘味料である、請求項1～3のいずれか1項に記載の飲料。

【請求項5】

さらに果汁を含有する、請求項1～4のいずれか1項に記載の飲料。

【請求項6】

高甘味度甘味料を含有する飲料中に、野菜汁を、飲料全体に対して0.5重量%～3.0重量%、アルコールを、当該飲料のアルコール度数として1v/v%～5v/v%で配合することを特徴とする、当該飲料中の高甘味度甘味料の呈味を改善する方法。